

中東地域のモモ・ネクタリン市場は成長が見込まれる

[FreshFruitPortal](#) 2025年4月30日

IndexBox(市場情報サイト)の[レポート](#)は、中東地域のモモとネクタリンの市場は、需要の増加に牽引され、今後10年間にわたって上昇傾向を維持するものと予想されると伝えている。業績は加速すると予想されており、2024年から2035年の期間の平均成長率(複利年率(以下同じ))は1.6%と予測されている。

この成長により、2035年末までに市場規模は210万トンに増加すると予測されている。取扱額の面では、市場は同期間に年率2.3%で成長し、2035年末までに推定24億ドル(名目卸売額)に達すると予想されている。

消費動向 中東地域のモモとネクタリンの消費量は、2年間の増加の後、2024年には2.6%減少し合計170万トンとなった。この減少にもかかわらず、消費パターンはこの期間中、概ね安定していた。2023年の消費量は180万トンに達してピークを記録し、2024年にはわずかに減少した。モモとネクタリンの2024年の市場販売額は、19億ドルで前年比2.6%減少した。この数値は、生産者と輸入業者の総販売額を表しており、物流と小売の費用は含まれていない。

国別の消費量 2024年に消費量が最も多かった国は、トルコ(78万1千トン)、イラン(59万3千トン)、サウジアラビア(7万3千トン)で、合わせて総消費量の83%を占めた。そのほか、イスラエル、ヨルダン、イラク、シリア及びレバノンが合わせて15%を占めた。2013年から2024年の期間のヨルダンの増加は年率18.5%で、最も顕著な成長を遂げた。他の主要国の成長率はそれよりも緩やかであった。金額ベースでは、イラン(7億4,800万ドル)、トルコ(6億6,700万ドル)、サウジアラビア(1億400万ドル)が最も市場販売額が大きく、合わせて地域市場全体の80%を占めた。

生産量 中東地域のモモとネクタリンの生産量は、2年間の増加の後、2024年には2.5%減少し合計190万トンであった。2013年から2024年までの生産量の成長率は年平均1.2%で、変動は小さく、比較的安定した傾向を示している。最も顕著な成長を示したのは2017年で、生産量が14%増加した。

生産量のピークは2023年の200万トンで、翌年にはわずかに減少した。全体的な成長は、収穫面積と収量の両方が徐々に増加したことに帰することができる。生産額では、2023年に22億ドル(輸出価格で推定)のピークに達し、2024年には21億ドルとわずかに減少した。

2024年には、トルコ(100万トン)、イラン(59万6千トン)、ヨルダン(10万3千トン)が上位の生産国であり、合わせて総生産量の89%を占めた。イスラエル、レバノン、シリア、サウジアラビアは合わせて9.6%であった。サウジアラビアは、2013年から2024年の期間に年率8.7%と生産量の大幅な増加を記録した。

収量と収穫面積 2024年のモモとネクタリンの平均収量は、やや減少したものの18トン/ヘクタールと2023年と同程度を維持した。2013年から2024年の期間の収量は、多少の変動はあるものの年率平均2.4%で増加した。2023年には最高収量の1ヘクタール当たり18トンを記録したが、翌年にはわずかに減少した。中東地域の2024年のモモとネクタリンの総収穫面積は、前年から横ばいの10万8千ヘクタールであった。収穫面積は全般的に減少傾向にあるが、2014年には最も顕著な増加(前年比12%増)が見られた。

貿易 モモとネクタリンの輸入量は、3年間の減少の後、2024年には46%急増して12万4千トンとなった。しかし、全般的な輸入量は概ね横ばいの傾向を示している。輸入額ベースでは、2024年のモモとネクタリンの輸入額は1億1,100万ドルに達した。時系列的に見ると、輸入額の最高は2021年に記録された1億6,500万ドルであった。2024年の主な輸入国はイラク(5万1千トン)とサウジアラビア(4万2千トン)で、合わせて総輸入量の74%を占めた。これに、アラブ首長国連邦(1万3千トン)とシリア(7,900トン)が続いた。

執筆者: カーラ・エスピノーザ・グティエレス